

構文論 単位としての文の主に形態的、意味的な構造の体系を扱う
統語論とも言う。シンタクス
形態論 文の成分を作るものとしての語の種類や性格を研究する
品詞論 (morphology)

1. 文の認定

- ・ 伝統的な説
- ・ ヨーロッパ語
- ・ 陳述説 (山田^{よしお}孝雄 渡辺実)
- ・ 句点
- ・ 一語文「火事!」「行け!」

2. 文の種類

<統語文型＝構造上の種類>

- ・ 橋本進吉
- ・ 山田孝雄

<意味文型>

- ・ 英文法的分類
- ・ 佐久間^{かなえ}鼎

<総合文型＝形と意味との総合を目指した分類>

- ・ 三尾^{いさご}砂

3. 文の成分

「主題」「述語」「補足語」「連用修飾語」「連体修飾語」

4. 品詞論

5. 補語（補足語）

- ・ 結合価 実質的な語義を有する語詞の潜在的な意味論的＝統語論的な結合能力
- ・ 動詞の格支配 動詞に属する語がそれぞれ一定の格成分を結合すること
- ・ 動詞価 動詞の有する結合価

6. 注意すべき構文

- ・ 存在、所有の構文
- ・ 授受の構文 （やりもらい表現）
- ・ 感情の構文
- ・ 対称性の構文
- ・ 比較の構文
- ・ 変化の構文

7. 述語の修飾語

- ・ 副詞
- ・ 形容詞連用形
- ・ 動詞テ形
- ・ デ格
- ・ 数量名詞

☆文の修飾語

- ・ 副詞
形容詞連用形
文修飾副詞相当句

8. ヴォイス

- ・ 受動表現
- ・ 使役表現
- ・ 被役表現（使役受け身）
- ・ 可能表現

9. テンス

- ・ 状態述語と動態述語

10. アスペクト

- ・ 状態相アスペクト
- ・ 動作相アスペクト
- ・ 「ている」による分類
- ・ 結果動詞
- ・ 「タ形」

11. モダリティー（ムード）

12. 疑問と否定の表現

13. 提題と取り立て

<主語とは>

- ・ 学校文法の定義
- ・ インドヨーロッパ語の定義
- ・ 主語必須説（大槻文彦）
- ・ 主語廃止論（三上章）

<総主語>

- ・ 草野清民
- ・ 述部説（新村出）
- ・ 正副二格説（山田孝雄）
- ・ 提示部説（小林好日）

<題述関係>

（三上章）

<題目（主題）>

- ・ 総題目 小題目（松下大三郎）
- ・ 題目以外の「は」
- ・ 「は」の兼務（三上章）

<有題文と無題文>

<新情報と旧情報>

14. 名詞句の構造

15. 指示

16. 複文

16-1

1. 形式名詞 「こと」「の」「ところ」
2. 疑問補足節 「～か」「～かどうか」
3. 引用補足節 「と」「ように」

16-2

1. 時 「とき」「とたん」「まえに」「までに」「うちに」 など
2. 原因 理由 「から」「ので」「ために」「せいで」「おかげで」
「だけに」「あまりに」「ばかりに」 など
3. 条件節 「と」「たら」「ば」「なら」 など
4. 付帯状況 様態
「ながら」「まま」「きり」 など
「ように」「とおりに」 など
5. 逆接 「ても」「のに」「ながら」「つつ」 など
6. 目的 「ように」「ために」「のに」 往来の目的「に」 など
7. 程度 「くらい」「ほど」「だけ」 など
8. その他 「からには」「うえで」「より」「一方」「につれて」
「どころか」 など

16-3

連体修飾節 内の関係
 外の関係 内容節 補足節

16-4

並列節 順接並列 総記 例示 累加
 逆接並列

16-5

従属度
従属節のテンス

17. 敬語と男女差

<敬語表現>

「敬語の指針」

敬語5分類	尊敬語	「お食べになる」「食べられる」 「いらっしゃる」
	謙讓語1	「そちらへ伺います」
	謙讓語2	「海外へ参ります」
	丁寧語	話相手に丁寧に述べる 「です・ます」「ございます」
	美化語	物事を美化する 「お酒」「お肉」

<男女差 位相語>